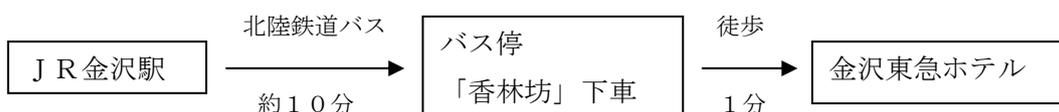


3月31日(木) 石川県立大学		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
受付場所	講義棟 1階	入口ロビー											
A会場	講義棟 2階	企画シンポジウム2 「北陸地域における自給飼料生産・利用の現状と課題」											
B会場	講義棟 1階	企画シンポジウム3 「北海道における近年の雑草侵入と草種構成悪化の現状と原因」											
C会場	講義棟 1階	企画集会 「公共牧場の活性化に向けて⑥北陸地域における公共牧場の現状と課題」											
D会場	講義棟 1階	口頭発表											
E会場	講義棟 1階	口頭発表											
ポスター発表会場	講義棟 1階	ポスター発表(階数)		ポスター展示		英文誌編集委員会	英文誌AE会議						
		ポスター発表(階数)		ポスター撤去									
	講義棟 1階	K116 大会議室											

－ 会場へのアクセス －

1. 3月29日（火） 金沢東急ホテルまでのアクセス

● 公共交通機関でお越しの方

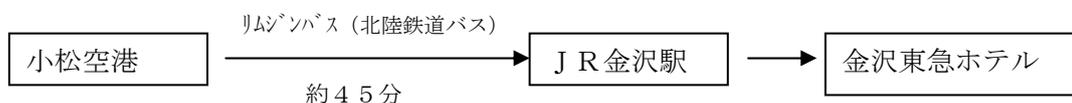


・ バスご利用の場合：JR 金沢駅より 北陸鉄道 金沢駅東口バスプール 8・9 番乗り場「香林坊」下車（200 円）

● お車でお越しの方

- ・ 北陸自動車道：金沢東インターから 国道 8 号線を小松・福井方面へ直進。「示野（しめの）中町」を左折、10 分ほど直進。「片町」を左折。
- ・ 「日銀前交差点」を左折。
- ・ 北陸自動車道：金沢西インターから 「松島北交差点」を右折。15 分ほど直進、「野町広小路交差点」を左折。犀川大橋を渡り、5 分ほど直進。
- ・ 「日銀前交差点」を左折。
 - 駐車場のご案内：金沢東急ホテル地下に駐車場があります。料金などについては、ホテルにお問い合わせください。

● 飛行機をご利用の方



2. 3月30日(水)、31日(木) 会場(石川県立大学)へのアクセス

- JR金沢駅から
 - JR・シャトルバスでのアクセス
 - ・JR野々市駅(JR金沢駅より7分程度)より、野々市市の「シャトルバスのんキー」(1日7便)に乘車し「県立大学」下車、徒歩すぐ
 - ・シャトルバスのんキー「時刻表・運賃表」
(http://www.city.nonoichi.lg.jp/chiikishin/shuttle_bus_nonkey.html)
 - バスでのアクセス
 - ・JR金沢駅または香林坊バス停より、北陸鉄道バス「南部車庫」、「辰口和光台」、「緑が丘十丁目」または「山島台四丁目」のいずれかに乗車し、「加賀産上林」下車、徒歩約15分
 - 電車でのアクセス
 - ・JR西金沢駅にて北陸鉄道石川線に乗り換え「乙丸駅」下車、徒歩約30分
 - 車でのアクセス
 - ・JR金沢駅より約30分
 - ・JR野々市駅、JR松任駅より約10分
 - ・北陸自動車道白山ICから約15分



－ 大会シャトルバス運行について －

大会2日目（3月30日）と3日目（3月31日）の会場となる、石川県立大学へのアクセスの充実を図るために、大会シャトルバスを3月30日、31日にJR野々市駅南口－石川県立大学間を直行で結ぶ送迎バスを運転します。運行時刻は次のとおりです。予約不要、無料ですので、是非ご利用下さい。

運行時刻

30日（水）

JR野々市駅		石川県立大学	定員
7：35	→	8：00	100名
7：45	→	8：10	100名

石川県立大学		JR野々市駅	定員
16：10	→	16：35	100名
16：20	→	16：45	100名

31日（木）

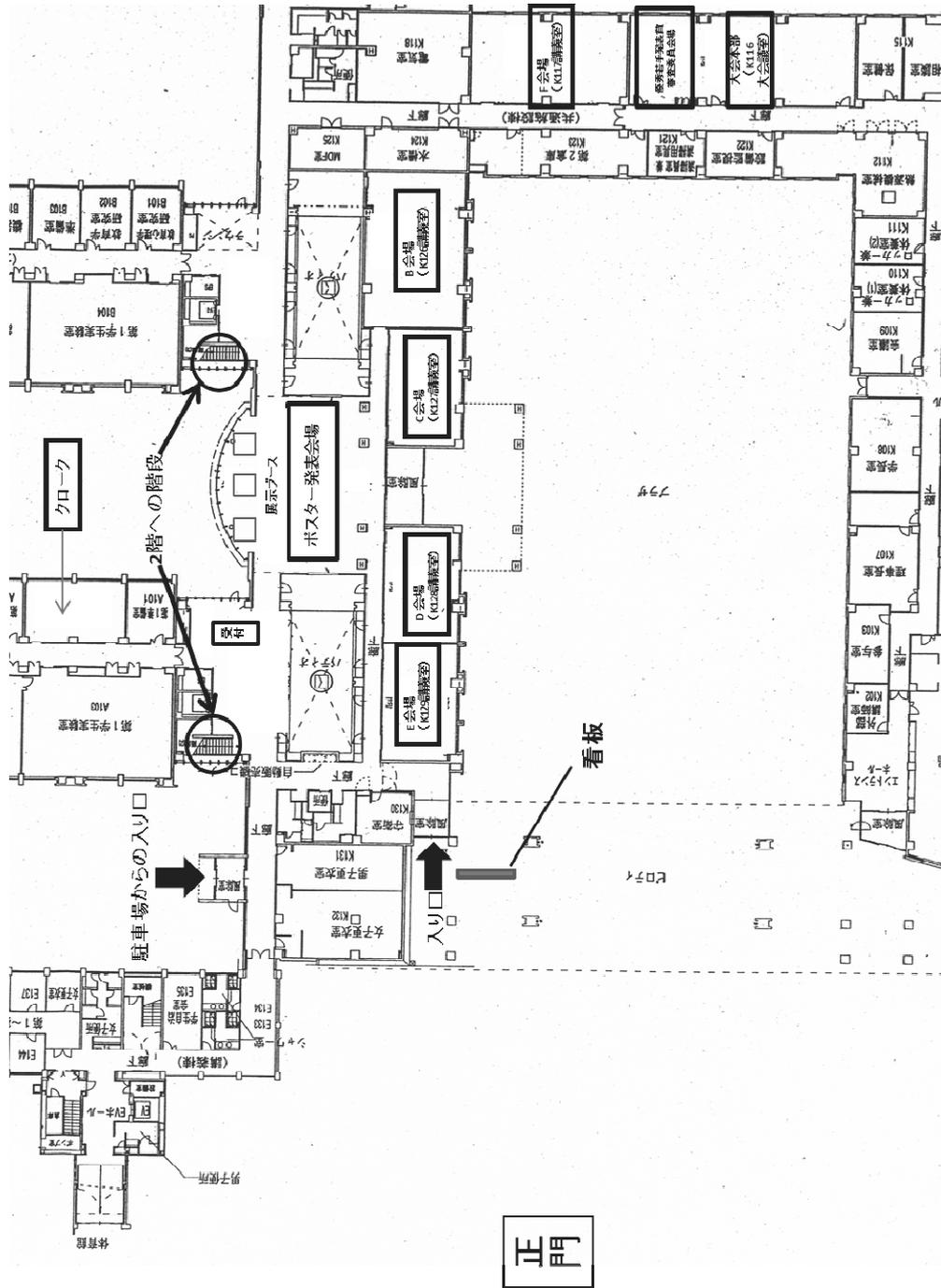
JR野々市駅		石川県立大学	定員
8：50	→	9：15	100名
9：15	→	9：40	100名

石川県立大学		JR野々市駅	定員
15：20	→	15：45	100名
15：30	→	15：55	100名

JR野々市駅 バス乗車場所

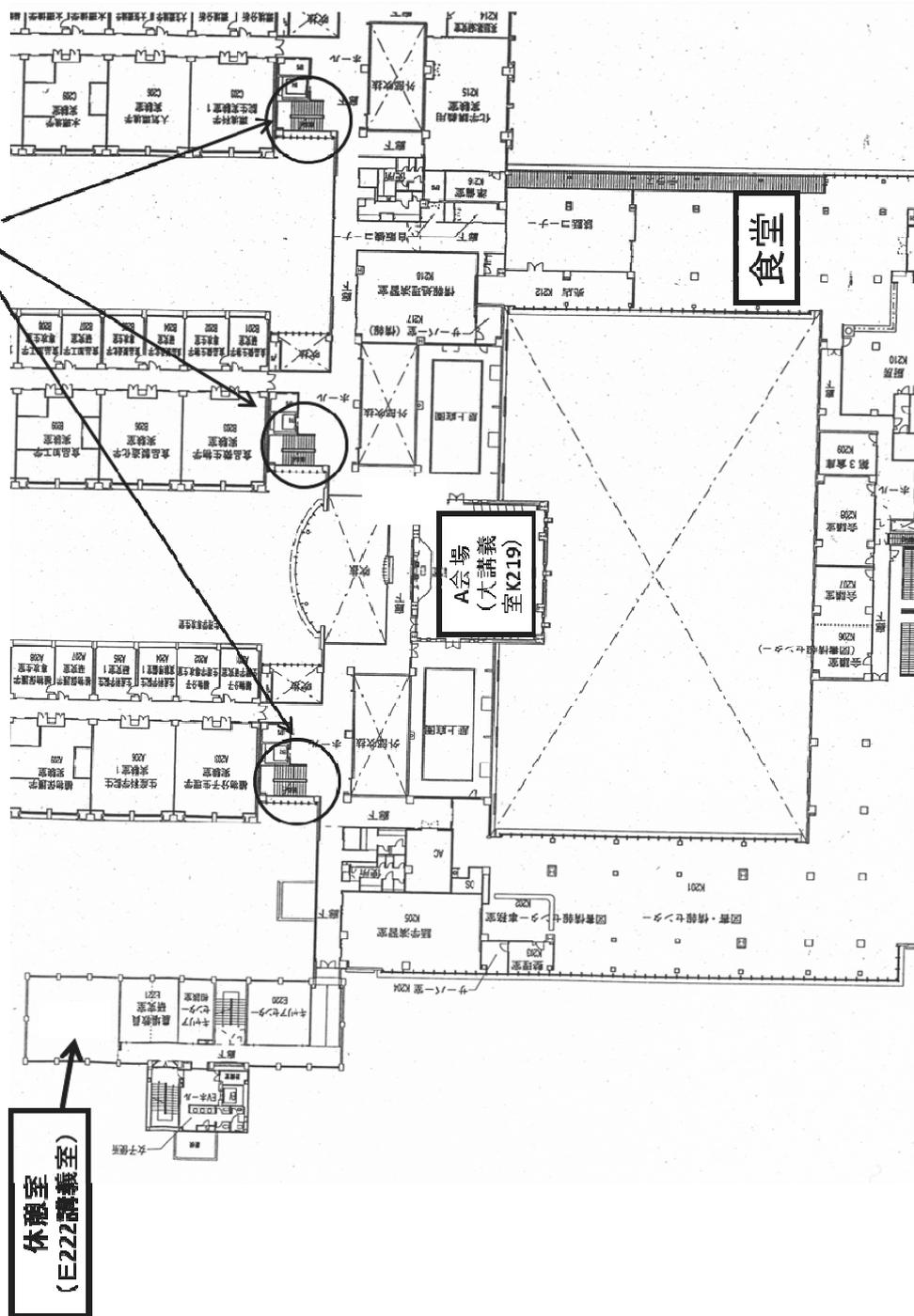
JR野々市駅「南口」前の駐車場に大型バスが停車しております。

会場配置図 1階
 (受付、大会本部、B会場、C会場、D会場、E会場、F会場、ポスター発表会場、展示ブース)



会場配置図 2階
(A会場、休憩室、食堂)

1階への階段



－企画シンポジウム、企画集会、小集会のご案内－

企画シンポジウム 1（一般公開）

「飼料用イネに関する研究開発動向と今後の展望」

日時：3月30日（水）、14:00－16:00

場所：石川県立大学 A会場（大講義室 K219）

企画者：野中和久（畜産草地研究所）

1. 飼料用イネ向け品種の開発動向
石井卓朗（作物研究所）
2. 飼料用イネの低コスト生産
吉永悟志（中央農業総合研究センター）
3. 飼料用イネの調製・加工技術
浦川修司（山形大学）
4. 泌乳牛に対する飼料用イネの給与技術
永西 修（畜産草地研究所）

企画シンポジウム 2

「北陸地域における自給飼料生産・利用の現状と課題」

日時：3月31日（木につて）、10:00－12:00

場所：石川県立大学 A会場（大講義室 K219）

企画者：石田元彦（石川県立大学）

1. 分離給与下での粳米 SGS 給与が乳牛の生産性に及ぼす影響
和田卓也（福井県畜産試験場）
2. 石川県における豚への飼料用米給与技術
遠藤斗南（石川県農林総合研究センター畜産試験場）

3. 河川堤防刈草の飼料利用の検討

小嶋裕子（富山県農林水産総合センター畜産研究所）

4. 飼料用稲とエコフィードを活用した泌乳牛への TMR 給与と新潟県内への波及

関 誠・小橋有里（新潟県農業総合研究所畜産研究センター）

企画シンポジウム 3

「北海道における近年の雑草侵入と草種構成悪化の現状と原因」

日時：3月31日（木）、10:00－12:00

場所：石川県立大学 B会場（K126講義室）

企画者：杉山修一（弘前大学）

出口健三郎（北海道立総合研究機構）

1. 採草地の植生悪化の現状とその要因

出口健三郎（北海道立総合研究機構）

2. 地下茎型イネ科雑草のサイレージ発酵特性とシバムギサイレージの飼料価値

北村 亨（雪印種苗株式会社）

3. 草地の植生改善プロジェクトから見えてきたこと

大塚博志（ホクレン農業協同組合連合会）

4. スラリー散布と草地の植生構造の変化

杉山修一（弘前大学）

企画シンポジウム 4

「草地学教育の現状と課題」

日時：3月29日（火）、13:00－14:00

場所：金沢東急ホテル ボールルーム A, B

企画者：八代田真人（岐阜大学）

1. 阿蘇草原再生活動における草原環境学習の取組
木部直美（公益財団法人 阿蘇グリーンストック）
2. 宮崎大学における産業動物コンサルタント育成プログラムの設置
石井康之（宮崎大学）

企画集会

「公共牧場の活性化に向けて ⑤北陸地域における公共牧場の現状と課題」

日時：3月31日（木）、10:00－12:00

場所：石川県立大学 C会場（K127講義室）

企画者：井出保行（畜産草地研究所）

1. 北陸地方における公共牧場の現状と課題
早坂 純（農林水産省 北陸農政局 生産部）
2. 技術紹介：草地管理の「見える化」「共有化」「データベース化」に向けて
 - ① 草地管理支援システムについて
企画者：井出保行（畜産草地研究所）・西村 一人（株式会社 パスコ）
 - ② 支援システムによる効率的草地管理
北川美弥（畜産草地研究所）
 - ③ 支援システム高度化のための家畜の行動データの利用
渡辺也恭（北海道農業研究センター）

小集会 1

「モンゴル草原での野外植物種数操作実験と生態系機能」

日時：3月30日（水）、13:00–14:00

場所：石川県立大学 C会場（K127 講義室）

企画者：吉原 佑（東北大学）

モンゴルの半乾燥草原では生物多様性消失が進行しており、この消失はさらに生態系機能の低下を招き、草地の持続的な放牧利用を妨げる可能性がある。そこで本研究では、植物種の消失を野外操作実験で再現し、植物群集における種多様性がどのように家畜生産に関わる生態系機能に影響するのかを予測することを目的とした。より高い精度の予測を行うため、本研究は長期大規模野外実験（1 ha 内に 84 プロットを 3 年間継続調査）、消失する種の順番を考慮（4 つの消失シナリオ）、複数の生態系機能（生産機能・飼料価値・物質循環機能）、メカニズムの解明（植物機能群解析・土壌微生物相解析）という特徴を併せ持つ。

生物多様性実験プロジェクトの結果を紹介し、プロジェクトおよび当該テーマ、特に持続的な家畜生産と放牧利用における今後の展望について解説する。

1. 生物多様性消失シナリオによる生態系機能の応答とそのメカニズムの違いについて

佐々木雄大（千葉大学）

2. 牧草の種多様性と飼料価値・物質循環機能の関係

二階莉紗（東北大学）

3. 次世代シーケンサーを用いた植物種数の異なる土壌の微生物相解析

吉原 佑（東北大学）

小集会 2

「飼料作物育種における種子増殖の現状と課題

②オーチャードグラスおよび多年生ライグラスにおける国内育成品種の海外増殖の課題およびその国内での採種性に関する特性」

日時：3月30日（水）、13:00－15:00

場所：石川県立大学 D会場（K128 講義室）

企画者：雑賀 優（岩手大学）・川口 優（家畜改良センター）

・上山泰史（畜産草地研究所）・清 多佳子（畜産草地研究所）

我が国の飼料作物の多くは、他の作物とは異なり海外で種子増殖される。飼料作物の種子を農家に安定供給するためには、国内の育種の段階から海外増殖を見据えた品種開発が必要である。そのため飼料作物種子増殖の現状と課題を共有し、育種を行う上で対応すべき事項を再認識することを目的に本小集会を開催する。第2回の今回は、オーチャードグラスおよび多年生ライグラスについて我が国の採種研究の現状と海外増殖上の課題を議論する。

1. アメリカ・オレゴン州の採種研究、最近の動向

雑賀 優（岩手大学）

2. 多年生寒地型牧草の海外増殖での実情

岩淵 慶（ホクレン農業協同組合連合会）

3. オーチャードグラスおよび多年生ライグラスの国内での採種性に関する特性

川口 優（家畜改良センター）

4. オーチャードグラスの採種性改良に向けた育種

眞田康治（農研機構・北農研）

（座長：上山泰史）

5. 意見交換

小集会 3 (本会はランチタイムセミナーの形式で開催されます)

「学位論文お披露目会 ～次世代を担う若手研究者達～」

日時：3月30日(水)、12:00-13:00

場所：石川県立大学 E会場 (K129 講義室)

企画者：川村健介 (広島大学)

・平野 清 (畜産草地研究所)

若手の会では、若手研究者の確保に向けた就職サポートを現在の最重要課題として位置づけています。草地学会の次世代を担う若手研究者の就職は、若手の会の活動を活性化するだけでなく、今後の運営を継続していくうえでも重要です。また近年、学会員の減少が続く学会全体の運営にも関わる重要な課題であると思われます。

学会大会は、求職側(ポスドクや博士・修士学生等)と求人側(研究所・大学・企業等)の交流の場です。両者の交流を加速し、若手研究者の就職をサポートする目的で、これから研究者の一步を踏み出そうとしている学生会員(2016年3月学位修了見込み)による「学位論文お披露目会」を企画します。講演者は、学位を取得したばかりの最も勢いのある若手研究者達です。求人側にとっては、新しい人材の発掘にもつながるものと思われます。また、これから学位取得を目指す学生会員にも、参考にすることが多くあるものと期待しています。

1. 「ヨシ (*Phragmites communis* Trin.) の飼料化に関する研究」

浅野桂吾 (石川県立大学)

2. 「Agro-Environmental Study on Grazing System: Sensing Grazing Behavior and Spatial Modeling」

吉利怜奈 (広島大学)

3. 「Toward the Efficient Grazing Management with Hyperspectral Remote Sensing」

Lim Jihyun (広島大学)

小集会 4 (本会はナイトタイムセミナーの形式で開催されます)

「若手 R ナイトフィーバー

1. ビッグデータの処理と植生データ解析」

日時：3月30日(水)、18:30-21:00

場所：石川県教育会館第一会議室

企画者：川村健介(広島大学)

・平野 清(畜産草地研究所)

Rを使ったデータ解析企画の第二弾は、ざっくばらんな雰囲気を出せるようにナイトタイムセミナーを企画します。内容は、前回のアンケートでリクエストの多かった大量データ処理と植生データ解析の基礎が題材です。

大量データ処理では、放牧家畜に取り付けたGPS首輪のデータをサンプルとして、数百ポイントを超えるGPS位置情報データのインポートから一日ごとの距離の計算、作図までを行う自分の関数を作成します。家畜の行動データに限らず、大きなデータの扱いにいつも時間をとられている学会員も多いはず。自分の関数を作って、同じ処理を簡単に実行できるようにしましょう。

植生データの解析は、草地学会員なら誰もが興味をもっている内容だと思いますが、被度や頻度のように定量的なデータ以外も扱うため、頭を悩ませている学会員も多くいると思います。前回の企画で学んだ一般化線形モデル(GLM)を活用して、植生データを解析してみましよう。

1. 「Rでビッグデータを扱う～自分の関数を作ろう～」

吉利怜奈(広島大学)

2. 「植生データ解析～GLMを活用しよう～」

安田泰輔(山梨県富士山科学研究所)

学会大会における求職中のポストク・学生の就職支援

日本草地学会 若手の会

このたび、若手の会では、学会事務局、草地学教育委員会ならびに大会事務局のご協力を得て、石川大会において『若手会員の研究職への就職サポート』を実施することとしました。本活動では、求職側（ポストクや博士・修士学生等）と求人側（研究所・大学・企業等）の交流の場である学会大会において、就職側が求職中であることを、大会期間中のリボン装着や講演要旨、発表資料内への明示によってアピールすることで、若手会員の就職に役立ててもらえるものと期待しています。またオプションとして、求職者本人から多くの大会参加者に直接アピールできる「アピールタイム」を、総会の前に1人あたり1分間ご用意しています。活動内容の詳細は下記をご覧ください。

本活動への応募は、大会エントリーページの下方（若手賞申し込みの下）に新設されました、『「研究職求職中」を要旨に明示する』の項目からお申し込みいただけます。また同時に選択いただく「現在のポスト、学年」、「アピールタイムに申し込む」の情報をもとに、リボンやプログラムに記載するシンボルを割り当てます。

若手会員の就職サポート内容

1. 求職中であることを示すリボン（もしくはバッジ）を装着

- 学会期間中に求職中であることを示すリボン（もしくはバッジ）を装着することで、求人側の皆様に明示する。
- 求職の状況（PD や D3 などすぐに職が必要な人、D1、D2 やマスターなどで急ぎはしないが将来的に希望する人）などに応じて、リボンの色を使い分ける（表1）。

2. プログラムに求職中であることを示すシンボルを追加

- プログラム中の発表課題番号の右（もしくは左）の分かりやすい箇所に、「求職中の学生・ポストク」であることが分かるシンボルを示す（表1）。

3. 発表資料（プレゼン・ポスター）に求職中ロゴを掲示

- プレゼン発表資料（PDF）やポスターに、求職中ロゴを入れる。

表1 求職中であることを明示する方法

明示方法	求職の状況			
	ポストク	博士課程3年	博士課程1-2年	修士課程
1. リボン	赤	ピンク	黄	青
2. プログラム	★	☆	◎	●

4. アピールタイムの設置

- 総会前に求職中のポストク・学生が、発表課題番号と研究概要、個性をアピールする時間を設置する。各1分の持ち時間とする。求人側の皆様に、興味を持った発表課題の話を聞きに会場へ足を運んでいただくことを期待する。

口頭発表プログラム 3月30日							
A会場 (大講義室 K219)			B会場 (K126講義室)				
時間	座長	優秀若手発表賞		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
8:30	川村 健介	Y01	Basic study on characteristics of perennial invasive weeds to establish a management for weed control in grassland ○Gang Wen Chen ¹ ・Hiroshi Ohtsuka ² ・Toshihiko Yamada ³ (1北大院環境科学・2北連・3北大)	8:30	小林 良次	201	千鳥播、狭畦、狭畦千鳥栽培が子実用トウモロコシの収量に及ぼす影響 ○宋 粮 ¹ ・義平大樹 ¹ ・一関悠太 ¹ ・佐藤智宏 ² ・小川健太 ¹ ・渡邊 悠 ¹ (1酪農大・2)バイオニアハイブレッッドジャパン)
8:45		Y02	Seasonal changes of herbage mass production in Yak and Sheep pastures in the Tibetan plateau ○Xiaoqin Li ¹ ・Aya Nishiwaki ¹ ・Weiru Song ¹ ・Rende Song ² ・Guomei Li ³ (1宮崎大・2Yushu Yak Comprehensive Research Station, China・3Yushu Prairie Center, China)	8:45		202	千鳥播、狭畦栽培が子実用トウモロコシの収量に及ぼす影響—長沼町における機械播種による実規模試験— ○義平大樹 ¹ ・宋粮 ¹ ・土屋恭平 ¹ ・佐藤智宏 ² ・小川健太 ¹ ・柳原孝二 ³ ・照井英樹 ⁴ (1酪農学園大学・2)バイオニアハイブレッッドジャパン・3)有限会社柳原農場・4)IDEC)
9:00		Y03	山間部野草地での夏季放牧によるヒツジの栄養・免疫状態の動態 ○浅野桂吾・長井千恵・伊藤愛莉・中谷晏子・石田元彦 (石川県大)	9:00		203	不耕起栽培の連作年数と窒素施肥がトウモロコシの収量に与える影響 ○出口 新・魚住 順・内野 宙・嶋野英子 (東北農研)
9:15		Y04	アニマルウェルフェアに配慮した採卵鶏輪換放牧システムの検討 ○小玉祐二・板野志郎・杉山稔恵・吉成悠佑・明珍 学・町田麻菜美・遠山 鍊 (新潟大)	9:15		204	イタリアンライグラス収穫後の散播密植栽培におけるスーダン型ソルガムの播種法 ○浅井貴之・後藤和美・有野陽子 (長野畜試)
9:30	休憩			9:30	須永 義人	205	スーダン型ソルガムとイタリアンライグラス二毛作体系のTDN収量と収益性 ○浅井貴之 ¹ ・千田雅之 ² ・後藤和美 ¹ ・有野陽子 ¹ (1)長野畜試・2)近中四農研)
9:45	Y05	Long term vegetation change trend detection by analyzing NOAA NDVI time series data in Inner Mongolia Gong Zhe ¹ ・Kawamura Kensuke ¹ ・Ishikawa Naoto ² ・Jin Hai ³ ・Goto Masakazu ⁴ ・Ito Yutaka ¹ ・Yin Ting ⁵ (1)広島大院・2)筑波大・3)Biotechnology Research Center, Inner Mongolia Autonomous Region Academy of Agricultural and Stockbreeding Sciences・4)三重大・5)IAA)	9:45	206		スーダン型ソルガムの収穫適期 ○清沢敦志・有野陽子・浅井貴之・後藤和美 (長野畜試)	
10:00	板野 志郎	Y06	牧草の施肥水準と生育期がルーメン内でのフィタン酸生成に及ぼす影響 ○呂 仁龍・EL-Sabagh Mabrouk・小櫃剛人・杉野利久 (広島大院)	10:00	浅井 貴之	207	ペレニアルライグラス混播採草地の特性 2. 2年間の調査結果 ○須藤賢司 ¹ ・久保田哲史 ¹ ・青木康浩 ¹ ・大塚博志 ² ・高橋 俊 ¹ ・佐々木翔希 ² (1)北農研・2)ホクレン)
10:15		Y07	飼料としての竹粉の利用性の検討 ○竹内 翼 ¹ ・遠藤斗南 ¹ ・石田美保 ¹ ・石田元彦 ² (1)石川県畜試・2)石川県大)	10:15		208	更新時に播種したオーチャードグラス、ペレニアルライグラスのリードカナリーグラスに対する競合力 ○有田敬俊 ¹ ・岡元英樹 ² ・前田浩貴 ³ ・大城敬二 ³ ・岡 一義 ⁴ ・吉川恵哉 ⁵ ・安達美江子 ⁶ ・竹田芳彦 ⁷ (1)道総研天北支場・2)現：道総研上川農試・3)北海道農政部技術普及課天北支場駐在・4)現：宗谷農改本所・5)現：宗谷農改北部支所・6)ホクレン畜産技術実証センター・7)ホクレン農業協同組合連合会)
10:30		Y08	WCS用イネ「たちずか」の子実生産に及ぼす窒素施肥の影響 ○脇山拓也・保科 亨・実岡寛文 (広島大)	10:30		209	公共牧場におけるペレニアルライグラス (Lolium perenne L.) 追播による植生改善が育成牛増体に及ぼす影響 ○平野 清 ¹ ・志村宏夫 ² ・大森俊彦 ² ・保倉勝己 ³ ・北川美弥 ¹ ・進藤和政 ¹ ・塚田英晴 ⁴ ・下田勝久 ¹ ・井出保行 ¹ (1)畜草研・2)山梨県子牛育成協会・3)山梨県酪試・4)麻布大)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月30日							
C会場 (K127講義室)				D会場 (K128講義室)			
時間	座長	6. 育種		時間	座長	1. 草地生態・システム・緑地環境	
8:30	高原学	601	高バイオマスイネの育種に有用な挿入欠失マーカーの作出 ○米丸淳一・小川大輔・山本敏央(生物研)	8:30	吉原佑	101	寒地型牧草の肥料木・庇陰樹としてのネムノキの特性評価。幹からの距離別にみた牧草と雑草の生育の4年間の推移 ○福田栄紀(東北農研)
8:45		602	ブラキアリアグラス新品種候補系統「沖縄1号」の収量と飼料品質の経時的変化 ○幸喜香織(沖畜研)	8:45		102	北里八雲牛の環境影響評価 ○堤道生 ¹ ・小野泰 ² ・小笠原英毅 ² ・寶示戸雅之 ² (¹ 近中四農研・ ² 北里大獣医附属FSC八雲牧場)
9:00		603	ソルガムbmr変異体の検出用DNAマーカーについて ○川東広幸 ¹ ・清沢敦志 ² ・米丸淳一 ¹ (¹ 農生研・ ² 長野畜試)	9:00		103	北海道および青森県で収集したオギの形態特性と遺伝変異 ○小路敦・眞田康治・田村健一・奥村健治(北農研)
9:15		604	ソルガム親系統の種子生産における栽植密度に関する研究 ○川口優・土方浩嗣・加藤知寿子(家改セ茨城牧場長野支場)	9:15		104	北海道におけるジャイアントミスカンサスの地域適応性 ○奥村健治 ¹ ・眞田康治 ¹ ・小路敦 ¹ ・田村健一 ¹ ・吉澤晃 ³ ・佐藤公一 ² ・牧野司 ⁴ ・松本武彦 ⁴ (¹ 北農研・ ² 道総研天北支場・ ³ 現雪印種苗(株)・ ⁴ 道総研根釧農試)
9:30	米丸淳一	605	ペレニアルライグラス種子生産における収穫適期簡易判定法の確立に関する研究 ○川口優・土方浩嗣・早坂邦昭・櫻井光一(家改セ茨城牧場長野支場)	9:30	堤道生	105	自己相関があるデータの一元配置の分析、t検定、無作為化検定 ○塩見正衛 ¹ ・陳俊 ² (¹ 放送大・茨城、 ² 西北農林科技大・動物)
9:45		606	準高冷地において選抜・育成したライムギ系統の越冬性評価 ○春日重光 ¹ ・宮下真実 ¹ ・大平理恵 ¹ ・齋藤秀夫 ¹ ・門脇豊 ¹ ・松原未来 ¹ ・小山内光輔 ² ・関根平 ² ・野宮桂 ² (¹ 信州大農・ ² 雪印種苗)	9:45		106	Dark diversityとは何か？ ○塩見正衛 ¹ ・山本嘉人 ² ・平野清 ² ・下田勝久 ² (¹ 放送大・茨城・ ² 畜草研)
10:00		607	イタリアンライグラスの近交系統作出に向けた自殖後代の作出(2) ○清多佳子・内山和宏・上山泰史(畜草研)	10:00		107	半自然草地における種の出現率と集中性の動態：テイラーのべき乗則を用いた状態空間モデル ○安田泰輔 ¹ ・塩見正衛 ² ・高橋繁男 ³ (¹ 富士山研究所・ ² 放送大・茨城・ ³ 元畜草研)
10:15	清多佳子	608	パヒアグラス遺伝子組換え体における有害物質産生性試験 ○権藤崇裕 ¹ ・Muguerza Melody ² ・周柏均 ² ・明石良 ² (¹ 宮崎大フロンティア・ ² 宮崎大)	10:15		108	Evaluation of seasonal change of protein fractions in kudzu herbage ○Dang Hoang Lam・Taketo Obitsu・Toshihisa Sugino・Renlong Lv(広大院)
10:30		609	複二倍体フェストロリウム戻し交雑後代におけるフェスクーロリウムゲノム構成比と農業・形態形質発現の関係 ○田村健一 ¹ ・眞田康治 ¹ ・田瀬和浩 ¹ ・久保田明人 ² ・秋山征夫 ² (¹ 北農研・ ² 東北農研)				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月30日						
E会場 (K129講義室)			F会場 (K117講義室)			
時間	座長	シニア発表		時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用
8:30	雑賀優	S01	電気さくの安全性・進化と将来 ○宮脇豊 (サージミヤワキ)	8:30	安田泰輔	401 肥育後期黒毛和種去勢牛に対する飼料用米多給方法の比較 ○高平寧子 ¹ ・中村真貴 ³ ・松原禎敏 ⁴ ・松原久美子 ⁵ ・南部 愛 ¹ ・金谷千津子 ⁶ ・楠引史郎 ² (¹ 富山畜研・ ² 筑波大学院・ ³ 富山県農林振興センタ・ ⁴ 富山県農産食品課・ ⁵ 富山県農業経営課・ ⁶ 元富山畜研)
8:45		S02	酪農振興政策のマトハズレとTPP ○市戸方丈 (元：畜草研)	8:45		402 乾燥籾米または生籾米サイレーズのルーメン内におけるDM消失率 関 誠・○小橋有里 (新潟農総研)
9:00		S03	稲わらと松阪牛 ○後藤正和 (三重大)	9:00		403 収穫後の経過時間の異なる稲ワラへの乳酸菌および繊維分解酵素の添加効果 ○関 誠 ¹ ・小橋有里 ¹ ・北村 亨 ² (¹ 新潟農総研・ ² 雪印種苗)
9:15		休憩		9:15		404 静電容量式水分測定器を用いた飼料イネ専用収穫機で調製したイネWCSロールペールの含水率推定 ○川出哲生 (畜草研)
9:30	後藤正和	S04	飼料用米および稲WCSの現状と研究方向 ○吉田宣夫 (草地畜産種子協会)	9:30	天羽弘一	405 高水分のソルガムサイレーズがマイクロストリップライン上の電磁波伝送特性におよぼす影響 ○松尾守展 ¹ ・橋 保宏 ¹ ・昆盛太郎 ² ・堀部雅弘 ² (¹ 生研セ・ ² 産総研)
9:45		S05	シイタケ廃菌床の飼料化の可能性 ○今井明夫 ¹ ・渡辺 潤 ² (¹ 今井農業技術士事務所・ ² 秋田県畜試)	9:45		406 牧草サイレーズの揮発性塩基態窒素含量推定方法 ○角谷芳樹 ¹ ・出口健三郎 ¹ ・飯田憲司 ¹ ・塩谷 心 ³ ・渡邊敏弘 ³ ・小澤崇洋 ³ ・川越大樹 ⁴ ・篠田英史 ⁴ (¹ 道総研畜試・ ² フォレージテストミーティング・ ³ 十勝農協連・ ⁴ 雪印種苗)
10:00		S06	奇妙な草食動物：ジャイアントパンダにおける竹細胞壁の消化 ○千秋達道 (北里大獣医)	10:00		407 近赤外分析装置を用いた暖地型牧草ブラキアリアグラスの栄養成分推定 ○安里直和・幸喜香織・島袋宏敏 (沖畜研セ)
				10:15	井上秀彦	408 マルチコンパクターを用いた籾米サイレーズの調製 ○中村寿男 ¹ ・大川夏貴 ¹ ・上島礒喜 ² ・下田茂穂 ² ・鶴田克之 ¹ (¹ 熊本農研セ畜研・ ² ヤンマーアグリ)
				10:30		409 飼料用米サイレーズのラッピングマシンを用いた簡易調製技術 ○嶺野英子・魚住 順・出口 新・内野宙 (東北農研)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月31日

A会場 (大講義室 K219)				B会場 (K126講義室)			
時間	座長	6. 育種		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
13:00	榑藤 崇裕	610	高次倍数性フェストロリウムに生じたゲノム量の減少 ○秋山征夫 ¹ ・上山泰史 ² ・濱田聖矢 ³ ・久保田明人 ¹ ・加藤大輔 ¹ ・山田-秋山仁美 ⁴ ・高原美規 ³ ・藤森雅博 ¹ (¹ 東北農研・ ² 岩大・ ³ 畜草研・ ⁴ 長岡技大)	13:00	岡元 英樹	210	オーチャードグラスとペレニアルライグラスの混播栽培における播種割合の検討 1. 札幌における試験結果 ○眞田康治 ¹ ・安達美江子 ² ・道場和也 ² ・竹田芳彦 ² ・田村健一 ¹ ・田瀬和浩 ¹ (¹ 北農研・ ² ホクレン)
13:15		61	サブクローバの全ゲノム解析 平川英樹 ¹ ・Parwinder Kaur ² ・白澤健太 ¹ ・Phillip Nichols ³ ・永野聡一郎 ¹ ・Rudi Appels ⁴ ・William Erskine ² ・磯部祥子 ¹ (¹ かずさDNA研・ ² 西オーストラリア大・ ³ DAFWA・ ⁴ マードック大)	13:15		211	オーチャードグラスとペレニアルライグラスの混播栽培における播種割合の検討2. 道東土壌凍結地帯における試験結果 ○安達美江子 ¹ ・眞田康治 ² ・道場和也 ¹ ・竹田芳彦 ¹ ・田村健一 ² ・田瀬和浩 ² (¹ ホクレン・ ² 北農研)
13:30		612	アカクローバ品種の種子増殖過程の異なる集団の特性比較 ○奥村健治 ¹ ・川口 優 ² ・高田寛之 ¹ ・廣井清貞 ¹ ・土方浩嗣 ² (¹ 北農研・ ² 家改セ茨城牧場長野支場)	13:30		212	北海道根釧地域における採草地維持管理時の草種構成悪化要因 2. 草地管理が草種構成に与える影響 ○中村直樹・林 拓・牧野 司・佐藤尚親 (根釧農試)
13:45	山田 大吾	7. 土壌肥料		13:45	東山 雅一	213	北海道の多雪地域における晩秋季の放牧期間延長に向けた永年生草種・品種の収量および採食性の比較 ○小路 敦 (北農研)
701		塩素系肥料、炭酸塩系肥料、硫酸塩系肥料の施用がソルガム、トウモロコシのDCAD値に与える影響 ○加藤直樹・神谷裕子・服部育男・島 武男・小林良次 (九冲農研)	214			UAVを用いて空撮したRGB画像からの放牧地の草量推定の検討 ○中神弘詞 (畜草研)	
701		塩素系肥料の施肥時期の違いがイタリアンライグラスの塩素含有率およびDCAD値に与える影響 ○加藤直樹・神谷裕子・服部育男・小林良次 (九冲農研)	215			耕作放棄地へのライムギ(<i>Secale cereale</i> L.)導入による秋冬期における放牧延長の実証 ○平野 清 ¹ ・中神弘詞 ¹ ・中尾誠司 ¹ ・斎藤栄 ² ・進藤和政 ¹ ・北川美弥 ¹ ・井出保行 ¹ (¹ 畜草研・ ² 栃木県畜産酪農研)	
14:00	702	チモシー晩生品種の1番草刈後の利用形態と施肥が草種構成と土壤化学性の経年変化に及ぼす影響 ○岡元英樹 ^{1,2} ・笹木正志 ² ・古館明洋 ³ ・大橋優二 ³ (¹ 道総研天北支場・ ² 現：道総研上川農試・ ³ 現：道総研中央農試)	14:15				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月31日

C会場 (K127講義室)				D会場 (K128講義室)			
時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
13:00	八代田 真人	301	市販の運動強度計を用いた放牧育成牛の採食及び反芻行動の簡易推定 ○八木隆徳 (北農研)	13:00	手島 茂樹	216	過剰施肥がバヒアグラス中硝酸態窒素含有率に及ぼす影響 ○金子 真・河野一彦・中村好徳・小林良次 (九沖農研)
13:15		302	連続放牧を活用した乳牛飼養技術の開発 3. 草丈・草量と搾乳牛の食草量との関係 ○須藤賢司・渡辺也恭・上田靖子・朝隈貞樹・八木隆徳・安藤 哲 (北農研)	13:15		217	リビングマルチを導入した飼料用ダイズ栽培における播種適期 ○内野 宙・魚住 順・嶮野英子・河本英憲・出口 新 (東北農研)
13:30		303	移動時にリーダーシップを有する個体の導入が牛群による草地利用に及ぼす影響：小規模な草地と群を用いた草地利用の空間的均等化の検討 ○平田昌彦・内村萌子 (宮崎大農)	13:30		218	ヘアリーベッチを用いたリビングマルチによる飼料用ダイズの雑草防除 ○魚住 順・内野 宙・嶮野英子・出口新 (東北農研)
13:45		304	草地と林地を含む山地放牧地におけるウシの摂食植物と摂取養分：初夏と秋の比較 ○高見澤真太・宍戸哲郎・小倉振一郎 (東北大院)	13:45		219	南九州の中標高傾斜野草地における越冬再生後のネピアグラスの生育特性について 吉岐侑佑 ¹ ・石井康之 ² ・一木 剛 ³ ・甲斐有 ³ ・井戸田幸子 ² (1宮大院農・2宮大農・3宮崎県立高千穂高校)
14:00		305	ケンタッキーブルーグラス草地におけるホルスタイン種子牛の若齢放牧育成 ○進藤和政・梶村恭子・平野 清・井出保行・秋山典昭 (畜草研)	14:00	菅野 勉	220	Growth and canopy structure in napiergrass genotypes ○Hamid Kadwal ¹ ・Yuusuke Iki ² ・Natsuko Tabushi ³ ・Shinichiro Kai ³ ・Sachiko Idota ³ ・Yasuyuki Ishii ³ (1宮崎大院農業工学・2宮崎大院・3宮崎大)
14:15		306	ヤギの放牧が荒廃農地の植物種構成に及ぼす影響 ○土井和也・田宮早恵・阿知波元樹・小林明奈・迫田志帆・八代田真人 (岐阜大)	14:15		221	テフ (Eragrostis tef) の成育および収量性に対する乾燥処理の影響 ○井戸田幸子・石井康之 (宮崎大)
14:30		307	山間部耕作放棄地でのヒツジ放牧における野草地の植生、採食草種の変化 ○中谷晏子・伊藤愛莉・長井千恵・浅野桂吾 ¹ ・石田元彦 ¹ (石川県大)	14:30			
14:45		308	耕作放棄地に放牧したヒツジのアルカン法による採食草の構成と採食量の推定 ○伊藤愛莉・長井千恵・中谷晏子・浅野桂吾・石田元彦 (石川県大)	14:45			

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

ポスター発表

奇数番号コアタイム： 3月30日 11:00～12:00

偶数番号コアタイム： 3月31日 8:30～9:30

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P01	空間放射線量率の経年変化からみた放牧地における放射性セシウムの動態 ○山下 萌 ¹ ・築城幹典 ¹ ・佐藤拓也 ¹ ・吉田健太 ¹ ・柁村恭子 ² ・山田大吾 ² (¹ 岩手大農・ ² 畜草研)
P02	放牧草地における放射性セシウム動態モデルの感度分析 ○築城幹典 ¹ ・山下 萌 ¹ ・柁村恭子 ² ・秋山典昭 ² ・平野 清 ² ・山田大吾 ² ・井出保行 ² ・渋谷 岳 ² (¹ 岩手大農・ ² 畜草研)
P03	放牧条件下でのセントオーガスチングラスとシバの生育に及ぼす土壌の化学性および日射環境の影響 ○大谷一郎・堤 道生・高橋佳孝(近中四農研)
P04	府県型放牧酪農における産出/投入比に基づくエネルギー評価 ○明珍 学・板野志郎・吉成悠佑・田中繁史・吉田智佳子(新潟大農)
P05	特定外来生物オオハングソウの侵入しやすい土壌環境の評価 ○馬場光久・横井咲絵・一戸佳奈・加藤彩子・小海美菜・杉浦俊弘(北里大)
P06	音声データを用いた外来植物の広域分布の把握 ○安田泰輔(富士山研)

2. 造成・管理・栽培

P07	チカシバの出穂は刈払い適期の目安になる2. 関東北部以南, 4か所の結果から ○北川美弥 ¹ ・野澤智浩 ² ・落合健吾 ² ・堤 道生 ³ ・金子 真 ⁴ ・中野美和 ¹ ・芳賀 聡 ¹ (¹ 畜草研・ ² 埼玉県秩父高原牧場・ ³ 近中四農研・ ⁴ 九沖農研)
P08	十勝山麓部における飼料用麦類の生育特性 ○飯田憲司・渡部 敢・出口健三郎・角谷芳樹(道総研畜試)
P09	ペレニアルライグラス・オーチャードグラス混播採草地における冠部被度および乾物収量の推移 ○柴山草太・谷津英樹・篠田英史・古川 修(雪印種苗)
P10	トウモロコシ・ソルガム混播栽培の湿害を軽減する畝立て播種技術 ○菅野 勉 ¹ ・森田聡一郎 ¹ ・行川貴浩 ² ・金子貴一 ³ (¹ 畜草研・ ² 千葉県畜総研究嶺岡乳牛研究所・ ³ 千葉県安房農業事務所)
P11	高糖含量オーチャードグラスの兼用利用特性(2) ○梅村和弘・眞田康治(北農研)
P12	Studies on plant growth and lead concentration of some tropical pasture grasses from lead contaminated acidic soils by liming ○Win Mi Htwe ¹ ・Yin Yin Kyaw ¹ ・Sarayut Thaikua ¹ ・Yuriko Imai ² ・Yasuhiro Kawamoto ² (¹ 鹿児島大・ ² 琉球大)
P13	エリアンサスの無施肥長期栽培における収量動態 ○上床修弘・加藤直樹・服部育男・伊藤博幸・高群憲一郎・我有 満(九沖農研)
P14	グリーンリーフデスマディウムの再生とアーバスキュラー菌根菌の生存菌糸に及ぼす刈取の影響 ○飛佐 学・井上裕康(宮崎大農)
P15	リン施用と根粒菌の接種がサイラトロの生育とアーバスキュラー菌根菌の菌根形成に及ぼす影響 ○飛佐 学・三牧成生(宮崎大農)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月31日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されている
ポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表

奇数番号コアタイム： 3月30日 11:00～12:00

偶数番号コアタイム： 3月31日 8:30～9:30

2. 造成・管理・栽培

P16	福島県復興牧場での飼料用トウモロコシ生産実証の経過と課題 ○住田憲俊・天羽弘一（畜草研）
P17	福島県の営農再開酪農場における飼料作物生産技術実証－放射性セシウム濃度の抑制－ ○天羽弘一・住田憲俊・小島陽一郎（畜草研）
P18	オーチャードグラスとトールフェスクの放射性セシウム吸収の草種間差 ○榎村恭子・内山和宏・秋山典昭・井出保行・渋谷 岳・下田勝久（畜草研）
P19	放射性セシウム耕起除染後の採草地で生産される牧草の放射性セシウム低減施肥方法の検討 ○宍戸哲郎 ¹ ・佐藤衆介 ² ・小倉振一郎 ¹ （ ¹ 東北大院・ ² 現：帝京大）

3. 放牧・家畜管理・行動

P20	放牧草地の植生に及ぼす水飲み場の影響 ○東山雅一（東北農研）
P21	放牧草地の可消化養分総量に及ぼす草種と施肥量の影響 ○東山雅一（東北農研）
P22	放牧牛の摂取植物種の多様性の違いが植物体のルーメン内消化性に及ぼす影響 ○高見澤真太・宍戸哲郎・小倉振一郎（東北大院）
P23	放牧家畜の行動判別に影響する加速度の変量と計測間隔の検討 ○吉成悠佑 ¹ ・板野志郎 ¹ ・明珍 学 ¹ ・小玉祐二 ¹ ・町田麻菜美 ¹ ・遠山 錬 ¹ ・渡辺也恭 ² ・川村健介 ³ （ ¹ 新潟大農・ ² 北農研・ ³ 広島大院）
P24	施肥面積削減が放牧牛の行動に及ぼす影響－山梨県立八ヶ岳牧場山地傾斜牧区での事例研究－ ○渡辺也恭 ¹ ・北川美弥 ² （ ¹ 北農研・ ² 畜草研）
P25	ウェアラブルカメラによる放牧ヤギの採食行動の予備解析 ○八代田真人 ¹ ・小倉振一郎 ² ・川村健介 ³ ・土井和也 ⁴ ・Jang Se-Young ⁵ ・Moon Sang-Ho ⁵ （ ¹ 岐阜大・ ² 東北大院・ ³ 広島大院国際協力研究科・ ⁴ 岐阜大院・ ⁵ 建国大）
P26	荒廃地に繋牧飼育されたヤギの選択採食性 第2報：春季 ○田中繁史・吉田智佳子・長井みのり・西川孝一・高橋能彦・板野志郎（新潟大農）
P27	UAVと地上ハイパースペクトル計測を用いた韓国の山地放牧地の草地診断 ○川村健介 ¹ ・小倉振一郎 ² ・八代田真人 ³ ・Lim Jihyun ¹ ・Jang Se-Young ⁴ ・Moon Sang-Ho ⁴ （ ¹ 広島大院・ ² 東北大院・ ³ 岐阜大・ ⁴ 建国大）
P28	韓国の山地放牧地における草地植生－放牧家畜の摂食植物－家畜の摂取養分：2年間の結果 ○小倉振一郎 ¹ ・八代田真人 ² ・川村健介 ³ ・Jang Se-Young ⁴ ・Lim Jihyun ³ ・Park Jae-Hyun ⁴ ・Moon Sang-Ho ⁴ （ ¹ 東北大院・ ² 岐阜大・ ³ 広島大院・ ⁴ 建国大）
P29	人工牛道を使用した、法面の保全的放牧利用の経過 ○手島茂樹・中尾誠司・山田大吾（畜草研）
P30	小電力無線IDタグを用いた放牧牛行動記録手法の開発 第1報 ○喜田環樹・手島茂樹（畜草研）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月31日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表

奇数番号コアタイム： 3月30日 11:00~12:00

偶数番号コアタイム： 3月31日 8:30~9:30

3. 放牧・家畜管理・行動

P31	暖地型草地での周年放牧による褐毛和種の肥育技術について ○今井裕理子・Thaikua Sarayut・川本康博（琉球大）
P32	放牧開始前のウシルーメン内アンモニア濃度の違いが放牧開始後のルーメン発酵および細菌叢の変化に及ぼす影響 ○中野美和・芳賀 聡・石崎 宏（畜草研）
P33	中国甘肅省におけるシンメンタール種肉用牛のエネルギー出納に及ぼすアルファルファ給与の効果 ○小林伸行 ¹ ・候 扶江 ² ・恒川篤史 ¹ ・一戸俊義 ³ ・閻天海 ⁴ ・陳 先江 ² （ ¹ 鳥取大・ ² 蘭州大・ ³ 島根大・ ⁴ 英国農業食品研）
P34	管理来歴が育成牛放牧草地における養分分布の不均一性におよぼす影響 ○三枝俊哉 ¹ ・塚崎顕太郎 ¹ ・加藤祐太 ¹ ・熊谷 宇 ¹ ・小川健太 ¹ ・八木隆徳 ² （ ¹ 酪農学園大学・ ² 北農研）

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P35	九州北部地域における極短穂型飼料イネ「たちあやか」の収量性ならびにサイレージTDN含量 ○深川 聡・片岡研一（長崎農技セ）
P36	Fermentation and in vitro Gas Production of Sorghum Silage Treated with Cellulase and Selected Lactic Acid Bacteria ○Takehiro Miwa ² ・Waroon KHOTA ¹ ・Suradej PHOLSEN ¹ ・Yimin CAI ³ （ ¹ Khon Kaen University・ ² 明治製菓・ ³ 畜草研）
P37	有色米の飼料成分、第一胃内分解特性、色素含量および抗酸化活性 ○細田謙次 ¹ ・中込弘二 ² ・笹原英樹 ³ ・松下 景 ³ ・田村泰章 ¹ ・宮地 慎 ⁴ ・松山裕城 ⁵ （ ¹ 九沖農研・ ² 近中四農研・ ³ 中央農研・ ⁴ 畜草研・ ⁵ 山形大）
P38	モンゴル国ステップ地域における異なる窒素源飼料給与が放牧ヒツジの増体、血液性状と肉質に及ぼす効果 ○山崎正史 ¹ ・Baasanjalbuu B. ² ・Chuluunbat G. ² ・Tsedevdorj P. ² （ ¹ 国際農研・ ² モンゴル生命科学大）
P39	分光計測からサイレージ調製中の飼料成分の推定は可能か？ ○川村健介 ¹ ・呂 仁龍 ² ・小櫃剛人 ² ・黒川勇三 ² ・範 心硯 ¹ ・林 志炫 ¹ （ ¹ 広島大・国際研・ ² 広島大・生物圏）
P40	倒伏圃場から収穫したイアコーンサイレージの収量と飼料成分組成 ○大下友子 ¹ ・根本英子 ¹ ・青木康浩 ¹ ・多田慎吾 ¹ ・青木真理 ¹ ・石田和徳 ² （ ¹ 北農研・ ² 共成レンテム）
P41	イアコーンサイレージの給与が泌乳牛の採食量および飼料給与後最初のミール持続時間へ及ぼす影響 ○多田慎吾・青木康浩・大下友子（北農研）
P42	イアコーンサイレージと早刈り牧草サイレージの給与が泌乳牛の飼養成績に及ぼす影響 ○青木康浩 ¹ ・大下友子 ¹ ・多田慎吾 ¹ ・上田靖子 ¹ ・青木真理 ¹ ・須藤賢司 ¹ ・山崎武志 ¹ ・田鎖直澄 ¹ ・伊藤文彰 ¹ ・伊藤孝浩 ² （ ¹ 北農研・ ² 岩手県畜研）
P43	サイレージ発酵過程で発生するガスの検討 1. イタリアンライグラスサイレージの発酵品質 ○折原健太郎 ¹ ・西館邦瑛 ² ・池田四郎 ² ・海福雄一郎 ² （ ¹ 神奈川畜技セ・ ² ガステック）
P44	サイレージ発酵過程で発生するガスの検討 2. GC-MS法を用いた揮発性有機化合物の測定 ○西館邦瑛 ¹ ・池田四郎 ¹ ・海福雄一郎 ¹ ・折原健太郎 ² （ ¹ ガステック・ ² 神奈川畜技セ）
P45	クズ (Pueraria lobata) の栄養成分とサイレージ品質の検討 ○堀口健一・山本美沙子・松山裕城・浦川修司・吉田宣夫・高橋敏能（山形大農）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月31日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表

奇数番号コアタイム： 3月30日 11:00~12:00

偶数番号コアタイム： 3月31日 8:30~9:30

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P46	モウソウチクサイレージの発酵性状と糖蜜添加効果 ○島 佳奈美 ¹ ・谷口喬子 ¹ ・鍋西 久 ² ・田中浩一郎 ³ ・小林郁雄 ¹ ・福山喜一 ¹ ・森田哲夫 ¹ ・三澤尚明 ¹ ・新美光弘 ¹ (¹ 宮崎大学・ ² 宮崎県畜試・ ³ 大和木材工業(株))
P47	石川県内において黒毛和種肥育牛に給与されている粗飼料のβ-カロテン含有量について ○石田美保 ¹ ・石田元彦 ² (¹ 石川県畜試・ ² 石川県大)
P48	茎ワカメを利用したサイレージ調製方法 ○大竹秀男 ¹ ・若林美穂 ¹ ・田川伸一 ² ・金藤克也 ³ (¹ 宮城大・ ² 清水港飼料(株)・ ³ さとうみファーム)
P49	この10年間の北海道内1番草の乳酸緩衝能と可溶性炭水化物の実態 ○篠田英史・三浦俊治・川越大樹・古川 修 (雪印種苗)
P50	スチールコンテナを用いたハイモイスチャーシェルドコーンの調製作業体系 ○根本英子 ¹ ・大下友子 ¹ ・青木康浩 ¹ ・多田慎吾 ¹ ・寺田晃子 ² ・石原拓郎 ² ・山本正浩 ² (¹ 北農研・ ² 胆振振興局農改普及センター胆振東支所)
P51	高ギャバ乳酸菌による膨潤米のサイレージ調製と発酵品質 ○蔡 義民 ¹ ・森岡勢一 ² ・青柳和重 ³ ・渡邊 智 ⁴ (¹ 畜草研・ ² 野川ファーム・ ³ 山形県農総研・ ⁴ 宮城県畜試)

5. 生理・形態・病理・昆虫

P52	リードカナリーグラスとハルガヤの発芽特性に及ぼす温度の影響 ○吉澤 晃 ^{1,2} ・岡元英樹 ^{1,3} ・高橋雅信 ^{1,4} (¹ 道総研上川農試天北支場・ ² 現雪印種苗・ ³ 現上川農試・ ⁴ 現根釧農試)
-----	--

6. 育種

P53	オーチャードグラス高糖含量品種「えさじまん」の乾物消失率と飼料成分特性 ○横山 寛 ¹ ・眞田康治 ² ・田村健一 ² ・田瀬和浩 ² ・谷津英樹 ¹ ・高山光男 ¹ (¹ 雪印種苗・ ² 北農研)
P54	本州中山間地における飼料用イネ専用品種「たちあやか」の種子生産に関する研究 土方浩嗣 ¹ ・中込弘二 ² ・○加藤知寿子 ¹ ・川口 優 ¹ (¹ 家改セ茨城牧場長野支場・ ² 近中四農研)
P55	熊本における栽植密度がスーダン型ソルガムの茎数および乾物収量に及ぼす影響 ○高井智之 ¹ ・上床修弘 ¹ ・桂 真昭 ¹ ・荒川 明 ¹ ・波多野哲也 ¹ ・山下 浩 ¹ ・松岡 誠 ¹ ・我有 満 (九沖農研)
P56	耐雪性に優れる四倍体早生イタリアンライグラス系統「東北5号」 ○久保田明人 ¹ ・上山泰史 ² ・藤森雅博 ¹ ・米丸淳一 ³ ・秋山征夫 ¹ (¹ 東北農研・ ² 畜草研・ ³ 生資源研)
P57	チモシーにおける地下茎型イネ科雑草のアレロパシーに対する抵抗性の品種間差異が作溝播種による初期生育に及ぼす影響 ○足利和紀 ¹ ・出口健三郎 ² (¹ 道総研北見農試・ ² 道総研畜試)
P58	The determination of the optimal dose of gamma irradiation for mutation breeding in <i>Brachiaria decumbens</i> . ○Sarayut Thaikua ¹ ・Kaori Kouki ² ・Yasuhiro Kawamoto ¹ (¹ 琉球大・ ² 沖縄畜試)
P59	北海道東部での越冬性に優れるペレニアルライグラスの育成 ○佐々木 亨 ¹ ・伊澤 健 ² ・杉田紳一 ³ (¹ 日草種協北海道支所・ ² 日草種協本所・ ³ 日草種協飼作研)
P60	ペレニアルライグラス「東北7号PR」の越夏性と収量性 ○藤森雅博・秋山征夫・久保田明人 (東北農研)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月31日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表

奇数番号コアタイム： 3月30日 11:00～12:00

偶数番号コアタイム： 3月31日 8:30～9:30

6. 育種

P61	早生高WSC含量母材系統「PC130G-B4」の特性 ○藤森雅博 ¹ ・谷津英樹 ² ・秋山征夫 ¹ ・久保田明人 ¹ ・田村健一 ³ ・横山 寛 ² ・佐藤駿介 ² ・眞田康治 ³ (¹ 東北農研・ ² 雪印種苗・ ³ 北農研)
P62	近赤外分光分析による牧草の総ポリフェノール含量の迅速測定 ○江口研太郎・上山泰史・内山和宏・清 多佳子・森田聡一郎・進藤和政・平野 清・的場和弘 (畜草研)
P63	人為交配により作出したオギとススキとの種間雑種の特性 ○眞田康治・小路 敦・田村健一・奥村健治(北農研)
P64	圃場検定によるイタリアンライグラスのいもち病に対する抵抗性の評価 ○荒川 明・平八重一之・笹谷高英・川上 顕・宮坂 篤・桂 真昭・波多野哲也・高井智之・松岡 誠(九沖農研)
P65	アルファルファの耐踏圧性に関する研究(5) 育成系統の播種2、3年目の耐踏圧性 ○廣井清貞・奥村健治(北農研)

7. 土壌・肥料

P66	那須周辺地域における草地飼料畑の管理実態 ○森 昭憲 ¹ ・宮田 明 ² ・寶示戸雅之 ³ ・築城幹典 ⁴ ・松本武彦 ⁵ ・有田敬俊 ⁶ ・清水真理子 ⁷ ・松浦庄司 ¹ ・波多野隆介 ⁸ (¹ 畜草研・ ² 農環研・ ³ 北里大・ ⁴ 岩手大・ ⁵ 根釧農試・ ⁶ 上川農試・ ⁷ 寒地土木研・ ⁸ 北大)
P67	継続的な土壌カリの収奪が二毛作で栽培されるトウモロコシとイタリアンライグラスの放射性セシウム濃度に与える影響 ○須永義人・原田久富美・川地太兵(畜草研)
P68	天北地方の酪農家草地における草種構成と土壌物理性の関係 ○岡元英樹 ^{1,2} ・中村 亘 ² ・市村 健 ³ ・山下一夫 ³ ・吉川恵哉 ⁴ ・岡 一義 ⁴ ・中田悦男 ⁵ ・笹木正志 ¹ ・松原哲也 ¹ ・安達美江子 ⁶ (¹ 道総研天北支場・ ² 現：道総研上川農試・ ³ 十勝農改・ ⁴ 宗谷農改・ ⁵ JAびえい・ ⁶ ホクレン)
P69	低フィチン鶏糞の特性とイタリアンライグラスの生育に及ぼす影響 赤堀 巧・若林幹太・小櫃剛人・前田照夫・○実岡寛文(広島大)

8. その他

P70	一般公開における牧柵迷路の取組み ○金子 真(九沖農研)
-----	---------------------------------

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月31日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。